事業所名　グループホームあんしん

作成日：令和　3 年 3 月 30 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	コロナ禍になり、感染防止のため、外部の方が気軽に玄関に入ってこないよう施錠し、外部の方への対応（荷物の受け取り等）は、玄関外で行うよう玄関は施錠している。	玄関の施錠することは、身体拘束の一部と考え心の解放感を与え、穏やかな環境の提供ができる。	3月の職員会議にて、外部評価の結果を話し合った。コロナ禍以前に戻し、玄関は施錠しない。利用者の離設に対しては、人感センサーを取り付け事前に察知位するようにした。	1ヶ月
2	16	コロナ禍における同業者との交流する機会を作り、勉強会等を通じ、ネットワーク作りをしていきたい。	オンライン研修の機会をこれまで以上に持ち、交流を深めることで互いに向上できる機会となる。	グループ施設との交流も全くなかったので今年度は再開を予定している。また、他の事業所との交流の機会がもてるよう外部との情報交換を持つ。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。